



## 稲葉寛之

Q：4月より施行が始まった中小企業・小規模企業振興条例を通じて、どのように中小企業を支援しようとしているのか。

A：真に中小企業の支えになる、実効性に重きを置いた条例とするため、「市の責務」として、企業にとって最大の財産である「人材」に着目し、小学校期におけるものづくり教育から高齢者の就労促進までの「人のライフステージ」に応じた支援を、また、創業に始まり、経営の安定から事業承継に至るまでの「企業の成長ステージ」に応じた支援を、切れ目なく行っていくことを、本市ならではの考え方として掲げている。「人材の確保・育成」、「創業・新規事業の創出」、「生産性の向上」の3つの施策に重点的に取り組んでいく。



## 佐藤成子

Q：＜市長の政治姿勢について＞これまでの8年間でどう評価し、3期目につなげていくのか。



A：この8年間で振り返ると、常に本市の将来の発展を願い、土台作りに力を置き、その準備を整えることができたとして自己評価している。3期目では未来の静岡のための投資を着実に実行していく。また、急速に進む人口減少や少子高齢化という課題を抱える本市が「持続可能なまち」となるために、中心部などの拠点エリアへ必要な都市機能が集約し、公共交通などが利用しやすく暮らしやすい「コンパクトなまち」を目指していく。

# 志政会

## しせいかい

### だより

令和元年7月発行

第15号

発行/静岡市議会 志政会  
編集/志政会 広報部  
〒420-8602  
静岡市葵区追手町5番1号  
TEL 054-254-2111  
(内4505)  
FAX 054-653-3412



## 会派視察

今回の会派視察では、岩手県紫波町と山形県川西町を視察しました。岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」は、国の補助金に頼らない公民連携の地方創生モデルとして注目されています。また山形県川西町では、全世帯が加入するまちづくりNPO法人「きらりよしじまネットワーク」が新しい自治会のあり方として注目されています。「持続可能な仕組み」と「新しい住民自治のカたち」を視察し、まちづくりのヒントを探ってきました。

#### ■岩手県紫波町「オガールプロジェクト」 ～ 注目を集める小さなまちの「地方創生」モデル ～

岩手県紫波町は、盛岡市と花巻市の間に位置する小さなまちです。“成長”を意味する「おがる」と“駅”を意味する「ガール」の2つの言葉から「オガールプロジェクト」と冠された取組みは、公民連携の地方創生モデルとして注目されています。



オガールプラザ

現在、紫波中央駅前には、図書館・マルシェ・子育て支援センターなどを備えた「オガールプラザ」と、ホテルやバレーボール専用体育館を備える「オガールベース」、バーベキューなどを楽しめる「オガール広場」があり、年間で80万人以上が訪れる場所となっています。

オガールプロジェクトは、トレンドや景気に左右されやすいショッピングや飲食店などを人集めの中心に置くのではなく、公共だからできる「人の集まる施設」の周りに商業施設などをつけていくことで、採算のとれる仕組みとなっています。民間の融資を基に厳しく審査された施設をしっかりと運用し、集客率を高め、そこから得る収益を税収として維持管理費に充て、実質の町負担をゼロにし、収益の生める公共施設を実現しています。まさに、公と民がwin-winの関係となり、持続可能な循環型社会が出来上がっていました。

視察を通じ、まちづくり・地域活性化に必要なことは、公主導でも民主導でもなく、「持続可能な優れた仕組み」と、「本気でまちを思う人々」であると感じました。

#### ■山形県川西町 NPO「きらりよしじまネットワーク」 ～ 世帯加入率100%のまちづくりNPO ～

「きらりよしじまネットワーク」は、山形県川西町吉島地区の全世帯が加入するまちづくりNPOです。「全世帯加入」という枠組みを提案したのは、すべての地域住民に地域おこしの当事者意識を持ってもらうためだといいます。

高齢化が進む地域や決まり事の多い地域では、なかなか新しいことに挑戦することができない部分もあります。そして一方で新しいことに挑戦しようとしている若い世代、中高年もいます。そんな地域と人をつなげ、コーディネーターの役割を担っているのが「きらり」です。きらりでは、若い世代のアイデアも取り入れ、産直市場運営、地場産品の加工・販売、児童クラブ、防災・防犯といった各種事業に取り組んでいます。

静岡市の自治会も高齢化が進み、役員のなり手不足や若い世代の参加のない自治会は形骸化し、限界にきています。今回の視察で、若い世代の参画には、イベント準備や片付けの役割ではなく、それぞれの行事や活動の企画立案など責任を持たせ、当事者意識を形成していくことが重要であると感じました。「きらり」のような新しい住民自治の形が、まちを活性化させ、元気にしていくのではないのでしょうか。



## 「東海大学海洋学部」との 意見交換会を行いました！



志政会では、毎年来年度予算への政策提言策定に向け、各種団体との意見交換会を精力的に行っています。今年は、6月20日に「東海大学海洋学部」と意見交換会を行いました。東海大学からは、秋山学部長をはじめ、山田教授、福田総務部長など9名及び大学生が参加されました。

会議では、「三保東海大トラウトサーモン」の取組みや、大学・学生の地域貢献などについて活発な意見交換が行われました。学生からは、大学のある三保地区から市内各所への移動手段の利便性向上のほか、学生への活動支援について要望を受けました。

今後、さらに他団体との意見交換会を開催し、得られた意見をもとに会派内で議論を重ね、来年度予算に向け政策提言をまとめていく予定です。





# 6月補正



## 一般会計 6 月補正予算 19 億 4,681 万円 桜えび事業者支援やトラウトサーモン養殖施設整備助成などに

### ■桜エビ事業者支援 … 1,582 万円



桜エビの記録的な不漁を受け、事業者への支援を行う。3 月下旬から始まった春漁の水揚げ量は過去最低だった昨春の 1/3 以下の 85.3 トンにとどまり、価格が高騰している。支援策は加工業者や飲食業者を対象にした経済支援と漁業者の経営安定化に向けた漁場調査の 2 本柱で行う。

- ・ 漁場調査 … 由比蒲原の漁業者がエビ以外に他の魚などの漁ができるか検討するために資源調査を行う。
- ・ 経済支援 … エビ漁に関連する食品加工業、飲食業者の借入金の利子 1% を補助する期間を 1 年から 2 年にのばす。また、新たに借り入れをする中小の食品加工、飲食業者には利子の半分、信用保証料の 3/4 を補助する。

### ■トラウトサーモン陸上養殖施設の整備助成 … 4,000 万円

三保の地下海水を活用したトラウトサーモン陸上養殖施設の整備に対する助成を実施する。この施設は旧三保文化ランドに整備され、国内初の寄生虫アニサキスの心配のないトラウトサーモンを養殖し、地域ブランド化を目指す。

トラウトサーモンは、令和 2 年 6 月に出荷開始予定で、生産量を段階的に拡大し、令和 6 年度に約 55 トンの出荷を目指す。



### ■日本平公園の整備 … 9,110 万円

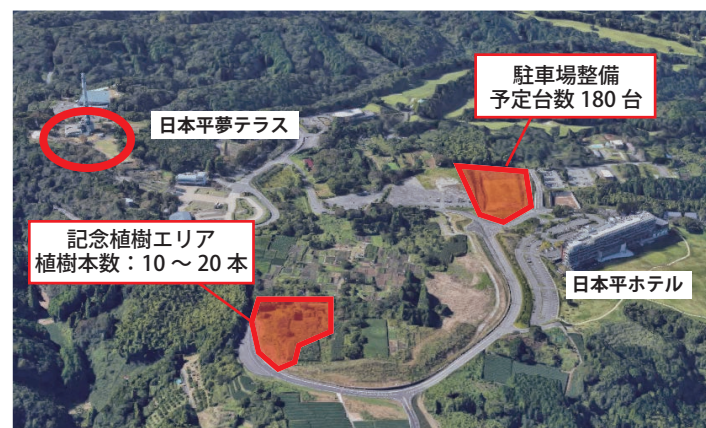
日本平夢テラスの完成以降、来訪者が増加している日本平公園の駐車場不足に対応するため、駐車場を整備する。また、国内外から来静される要人方々に記念植樹をして頂く記念植樹エリアを整備する。

#### 【駐車場整備】

- ・ 場所 日本平ホテル前 ・ 駐車場台数 180 台
- ・ 供用開始 令和 2 年度 90 台、令和 3 年度 90 台

#### 【記念植樹エリア整備】

- ・ 場所 平原ゾーン ・ 植樹可能数 10 ～ 20 本



### ■「We Work」を活用した首都圏企業の誘致推進 … 327 万円

定住人口拡大のため、コミュニティ型シェアオフィス「We Work」を活用し、首都圏企業の誘致に向けたニーズ調査とセミナーを実施する。

- ・ 「We Work」メンバー企業を対象とした地方拠点設置等に係るニーズ調査
- ・ 首都圏での企業誘致セミナーの開催



#### 「We Work」とは…

- ・ 世界 27 カ国、425 カ所で展開するシェアオフィス。メンバーは 40 万人以上。
- ・ 大手、中小、ベンチャー企業など多様な企業・人材がメンバーとなり、ビジネスネットワークを形成。
- ・ 静岡市は昨年 10 月から都内の「We Work」に入居し、本市のプロモーションや市内企業のビジネスマッチングのための情報発信、イベントの開催などを実施。



「We Work」での本市主催イベントの様子 (H30.11.28 開催)



## シニア向け就労サポート窓口 「NEXT ワークしずおか」がオープンしました

シニア層を対象とした就労支援窓口「NEXT ワークしずおか」が、6 月 18 日、静岡市役所内にオープンしました。官民が連携してシニア向けの求人情報などをワンストップで提供します。NEXT ワークの主な業務内容は、

- ・ 求人情報の提供や就職セミナーの案内など高齢者向けの相談業務
- ・ 独自の求人情報獲得のための企業訪問 ・ 中小企業の課題解決提案

などで、人材派遣業や企業での営業を経験した職員 5 人が常駐しています。市によると、2017 年の 65 歳以上人口は約 20 万 7,000 人で、「働きたいが働いていない」高齢者は 17.9%いるとされています。2025 年には市内の高齢化率が 3 割を超えるという想定もあり、就労意欲のある高齢者に活躍する場を提供できるかが喫緊の課題となっています。

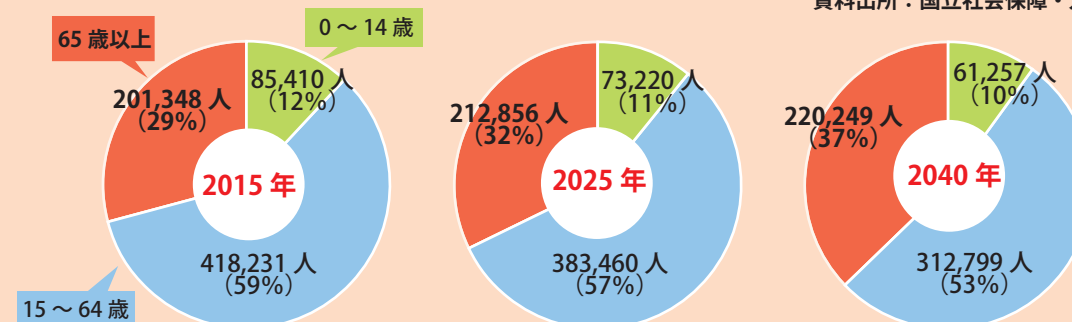
NEXT ワークしずおかでは、「週に 2 ～ 3 日働きたい」など多様なニーズに応えることを目指しており、就労意欲のある高齢者へ情報提供を行っていきます。



「NEXT ワークしずおか」の様子

【静岡市人口推移】 少子高齢化により、15 ～ 64 歳の生産年齢人口が減少する一方、65 歳以上の人口は増加する。

資料出所：国立社会保障・人口問題研究所



## 清水港開港 120 周年開港祭

1899 年（明治 32 年）に開港した清水港は、今年で開港 120 周年を迎えます。清水港は、日本の象徴 世界文化遺産である富士山を背景に、古来より三保半島に抱かれた風光明媚な天然の良港として栄え、独自の文化や産業を育くみ、人々の豊かな暮らしを支えてきました。

7 月 13 日～ 15 日の開港祭では、様々なイベントが開催されます。また、海フェスタしずおか（7/13 ～ 8/4）も同時開催されます。

今夏はぜひ清水港へお越しください。 練習帆船「海王丸」（7/13・14 一般公開）



### 開港祭概要 (7/13 ～ 15)

#### 【江尻会場】

JR 清水駅周辺：オアシスマルシェ・缶詰バー  
マリナート：清水みなとまちシンポジウム 等



#### 【日の出会場】

マリナパーク：アーティストライブ・ストリートサッカー  
マリニビル：海の総合展・さかなクン記念講演会  
マリインターミナル：しずおか Only One & No. 1 フェア  
日の出頭：乗船体験（練習帆船「海王丸」） 等